



新年あけましておめでとござい
ます。

組合員及び地域住民の皆様と
もに輝かしい新年を迎えられたこ
とに謹んでご祝詞を申し上げます。

日頃より農協の各事業におきま
しては、格別なるご理解とご協力
を頂き、厚くお礼申し上げます。

さて、昨年を振り返ってみます
と、コロナウイルスが世界中に感
染拡大し、政府が緊急事態宣言
を発出し、人の移動の制限や飲食
店等の営業時間の規制に加え、各
種イベント等の自粛など先の見通
せない状況の中、2月にワクチン
接種を開始、その後感染者が減少
傾向となりましたが、依然として
国内外の経済に大きなダメージを

令和4年度

新年の挨拶を申し上げます

与えました。

そのような中、1年遅れの8月
に東京オリンピックが無観客での
開催となり、世界各国から参加者
が国内に移動し感染拡大が懸念さ
れました。

一方、農業を取りまく情勢につ
いては、就農人口の減少や生産農
家の高齢化、後継者不足による耕
作放棄地の増加等の諸問題に直面
している中、元気な地域と農業を
めざし自己改革に取り組んでいると
ころです。また、5月の臨時総会
で承認いただきました、ライスセ
ンター新築工事も本年8月に完成
を目指し工事を進めております。

このような中、当JAの主力作
物であるりんごについては、春先

から全国的に温暖化傾向で生育が早めに推移したことから低温の影響を受け、広域的な凍霜害による側果対応や、夏季の降水量不足により、サビ果等の多発や、肥大不足となり、当JAの入庫数量は657,920箱(前年比80%)の入庫実績となりました。

また、稲作については生育期間中全般的に好天に恵まれたことにより、自主流通米5,436俵、(前年比100%)という実績となりました。

りんごの販売については、早生種の「サンつがる」について、前年産やNZ産の流通在庫が多いことから、低調なスタートとなりましたが、総体数量が少ないことから相場は一転し、尻上がり状態となりました。中生種の「早生ふじ系」「トキ」については、品種移行が順調に行われ、台湾・香港を中心とする輸出向けも順調に販売されました。特に「シナノスイート」については、全国的にギフト向けが不足したことから高騰しました。

晩生種主力の「サンふじ」については、ギフト向けが全国的に不

足していることに加えて、春節時期が早いことや、コンテナ船の確保が不安定であることから輸出向けも年内作業に集中し、上位等級品については高騰する反面、下位等級品については、品薄傾向ではあるものの下げ基調で推移し、二極化現象となりました。

このような状況から、越年在庫は前年を大幅に下回る見通しではありますが、小売価格が高すぎることから、全国一斉に売場を縮小されるなかで、企画販売の充実、消費形態に対する宣伝施策により、売り場の確保と高値販売に取組んでまいります。

近年、農業生産基盤が急速に脆弱化していくことが強く懸念される中、組合員の期待に応えるとともに、地域に根ざした組織として、組合員ならびに利用者の皆様から愛されるJA相馬村をめざし、役員が一丸となって取組んでまいりますので、より一層のご理解とご協力をお願いします。

本年も大きな災害の無いことを祈りつつ、組合員及び地域住民の皆様が健やかで笑顔に暮せることを願い新年のあいさついたします。

代表理事組合長 大場 勉

専務理事 三上 隆基

理事金融共済部長 花田 敏幸

理事・総務委員長 福島 憲一

理事・経済委員長 花田 勇人

理事・経済委員 溝江 徹

代表 監事 藤田 伸

監事 山内 知人

監事 岩谷 健

他職員一同